

システムの名称：NEO-BASIC IV

第1章 システムの基本的な考え方

NEO-BASIC IVは、木造住宅の構造躯体変形によるクレームを排除し、顧客満足度を上げるために構造躯体を集成材化している。集成材に断面欠損が生じる部分については金物接合を採用し、構造躯体の耐久性向上を図っている。

また、構造材・床・壁・間仕切パネルはAQ認証プレカット工場で生産するため、現場での生産性向上を図るとともに、工期短縮と高性能・高品質住宅の安定供給を可能としている。

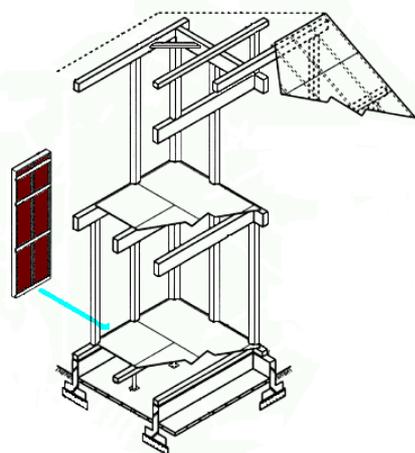
長期優良住宅の水準

| | | |
|------------------|---|----------|
| ①構造躯体の劣化対策 | ⇒ | 品確法等級3相当 |
| ②耐震性 | ⇒ | 〃 等級2 |
| ③維持管理・更新の容易性 | ⇒ | 〃 等級3 |
| ④省エネルギー性能(区分IV) | ⇒ | 〃 等級4 |
| ⑤35年以上の保守計画や修繕計画 | | |

第2章 システムの概要

2.1 NEO-BASIC IVの概要

- (1) 主要構造材はAQ認証プレカット工場加工された集成材を使用し、生産及び施工の合理化を図っている。
- (2) 木材に断面欠損が生じる部分については、金物接合を行い、壁・間仕切りパネルを導入する。そのため、品質にバラツキのない工場生産化率の高い短工期・高生産性タイプの住宅を安定供給できるシステムとする。
- (3) 部材については、基本的にAQプレカット部材と工場生産された羽柄材または壁・間仕切りパネルを利用し、サイズ・仕口を統一することにより、省力化を図るために、標準的な建物で、上棟後の造作大工の人工数は、1.2人工/坪以下を目標とする。
- (4) 現場における生産性を向上させるために、加工・生産・建方・仕上げまでをマニュアル化した工程管理により、コスト削減と工期短縮を図るシステムとする。
- (5) 住宅性能診断士ホームズ君「構造EX」Ver3.5(認定番号P04-02)を用いた構造設計による安全確認を行う。
- (6) NEO-BASIC IV 構造躯体概要図



構造躯体の樹種及び寸法

| 部材(部位)名 | 樹種名 | 構造用集成材又はKD材 | 寸法 |
|-----------|--------------------|-------------|-------------------------|
| 土台 | オウシュウアカマツ | | 105×105・120×120 |
| 大引根太 | オウシュウアカマツ、杉 | | 105×105 |
| 柱 | 大壁 | 通し柱 | オウシュウアカマツ、ダフリカカラマツ、杉、米松 |
| | | 管柱 | オウシュウアカマツ、SPF |
| | 真壁 | 通し柱 | 檜、杉 |
| | | 管柱 | 檜、杉 |
| 桁・梁(胴差) | オウシュウアカマツ | | 105×150~420 |
| 母屋・棟木・隅谷木 | 杉、米松、オウシュウアカマツ、SPF | | 105×105~180 |
| 小屋束 | 杉、米松、オウシュウアカマツ | | 105×105 |
| 耐力壁面材 | 構造用合板、MDF、石膏ボード | | 9mm厚 |
| 床 | 構造用合板 | | 24mm・28mm厚 |

※土台、大引、1階柱等の部材には上記の樹種による「ランベックス防腐・防蟻処理構造用集成材-2(2種-AZN)(認定番号AQ-030-C2-3)」を使用する。

2. 2 NEO-BASIC IV 施工フロー図

